

仕事をする方の生の姿が学べます

新型コロナウイルスの影響で、様々な変更や中止が生まれました。学校においてもそれは避けられません。その一つに「進路の学習」があります。

二年生を対象に秋に予定していた「マイスタープロジェクト」は中止となりました。職場体験学習については、北中生に体験させたいのはやまやまですが、受け入れ先の職場の事情もあるので、実施が非常に難しい状況です。

「だったら、仕事について何も学習できない」と嘆きたくなりますよね。しかし、勉強しようと思えばできるものだと私は思います。

現在、小倉左官店の方が北中で作業してくださいていることは以前お話ししましたよね。私はこれが勉強の機会だと考えています。

床下での仕事なので、左官の仕事そのものは見えません。見えるのは、仕事に取り組む姿勢や意識です。「いい仕事」をしようと思ったら、妥協たきようしない姿勢や高い意識は、どの職業でも同じです。

左の二枚の写真の光景は会議室前（上）と職員玄関前です。この二つの光景から、仕事をする上での心構えを学ぶことができます。

上の写真からは、安全第一で仕事に取り組むことが大切だとわかります。仕事をする自分たちだけではなく、周囲の人の安全にも気を配らなければなりません。それをおろそかにして仕事は絶対できないのです。

下の写真からは、整理整頓を心がけて仕事に取り組むことが大切だとわかります。皆さんは「どこに何があるかわからなくなるからそのままにしておいて」と言ったことはありませんか。仕事では、それは「私は仕事ができます」と言っているようなもの。整理整頓は仕事の質を上げるためにも大切です。

職場に行かなくても勉強はできます。むしろ、仕事をする方の生の姿を目の当たりにすることができますよ。

（六月十一日 記）

